

巣立ち応援！新成人18歳に「祝い金50,000円」を支給 南相馬市が東北初の支援事業を開始

福島県南相馬市は、東北初の子育て支援制度「巣立ち応援18歳祝い金支給事業」を令和4年度より実施いたします。本事業は、令和4年度に18歳になる市民を対象に祝い金5万円を支給する、南相馬市独自の新制度です。

実施に伴い、新たな門出に立つ18歳の皆様にエールを送るとともに、「地域社会全体でこども・子育てを応援する」という本市の基本的理念の浸透を広く図るため、市民の協力のもと応援メッセージポスターを制作し、市内の公共施設や商業施設に掲示するほか、3月1日には、記念撮影イベントを開催いたします。



▼本事業について

- ・名称：巣立ち応援18歳祝い金支給事業
- ・支給額：1人あたり5万円
- ・対象者：令和4年度に18歳になる市民(平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ) で、以下①、②のどちらかに該当する方。
 - ① 令和4年10月1日時点で3か月以上南相馬市に住民票がある方
 - ② 進学、結婚等を理由に市外に住所を有している方で、親権者(親)や親類など実際に支給対象者を養育した者が令和4年10月1日時点で3か月以上南相馬市に住民票がある方

※事業詳細:南相馬市ホームページ 巣立ち応援18歳祝い金支給事業

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/sections/15/1510/15101/3/19747.html>

※子ども家庭課担当職員の事業に対する想いや日々のことをnoteで発信しています。

巣立ち応援18歳 | 南相馬市子ども家庭課【公式】

https://note.com/minamisoma_18sai

<支給対象者への通知文について>

「巣立ち応援18歳祝い金支給事業」開始の案内文書と共に、市長からのメッセージ、白紙の色紙を対象者に送付。色紙は、メッセージを書き込める仕様となっており、友人やお世話になった方から応援メッセージをもらえるようになっています。新しい環境・ステージへ挑戦をする際や何気ない時に見返し、勇気の出るお守りのような色紙になって欲しいという想いを込めています。



・市長メッセージ

「子ども」から「おとな」へ、
「高校生」から「大学生・専門学校生・社会人」へ、
「地元」から「市外」へなど、それぞれのステップを進むみなさんを、
南相馬市は地域のみならず一緒に全力で応援しています。
さあ、行っといで。



▼応援ポスターについて

本事業の対象者となる南相馬市の高校生の他、18歳を応援する地域住民の方々7組をモデルとして起用し、令和4年11月に本市内で撮影。「さあ、行っといで」のコピーと共に応援の言葉を載せた全8種類のポスターが完成いたしました。

■キャッチコピー「さあ、行っといで」に込めた思い

「さあ、行っといで。」は、市内に残る人、市外に出る人、全ての18歳に向けての言葉です。

成人の門出を迎え、新しい環境に踏み出す彼らへ「地域社会全体でみなさんを応援しているよ」という想いを込めました。

玄関先で背中をポンと押し、送り出す実家の雰囲気や「さあ、行っといで。」というキャッチコピーで表現しました。

■各ポスターのコピーについて

各ポスターのコピーは、被写体の皆さまに18歳の皆さんに向けた想いを、インタビューから抜粋し、作成いたしました。

■ポスター掲出箇所(A2サイズ / 全8種類)

令和4年2月20日より、市内の公共施設、商業施設など約90施設に掲出

■主な掲出場所:

南相馬市役所、鹿島区役所、小高区役所、市民情報交流センター、中央図書館、生涯学習センター、市内郵便局他、商業施設、銀行など

当ポスターを含めた本プロジェクトのクリエイティブ全般を、南相馬市小高区に拠点を置くデザイン事務所marutt株式会社が担当。撮影はいわき市出身の写真家・白井亮氏を起用いたしました。

■記念写真撮影会について

名称: 巣立ち応援18歳祝い金支給事業企画 卒業おめでとう撮影会

日時: 令和5年3月1日(水) 13時~18時

場所: 市民情報交流センター及び図書館(南相馬市原町区旭町2丁目7-1)

対象: 支給対象者及びその同伴者 ※家族、友人等問わない

定員: 50組を予定

※撮影した写真データはその場でお渡しいたします。

<申込フォーム>

<https://forms.gle/s2TBHPa5Ktprf9CM6>

締切: 令和5年2月28日(火) 17時

※事前申込された方を優先して撮影いたしますが、人数によっては当日参加も可能です。

巣立ち応援18歳
祝い金支給事業
企画

卒業おめでとう撮影会
開催!!

無料
です!

日時 3/1 水 13:00 ~ 18:00

場所 市民情報交流センター
マルチメディアホール
(市立中央図書館のとなり)

【参考】南相馬市の子育て支援の取り組み

南相馬市は、令和4年4月1日に「こども・子育て応援条例」を制定。こどもたちは、地域の宝であり、未来を託す存在であるという思いを市民と共有し、応援していくための基本的理念や関係者の役割、基本的施策等を決めました。また、日々笑顔で過ごすことができる社会の実現に向け、結婚、妊娠・出産、子育てまでのそれぞれのステージに応じた切れ目のない支援を実施しています。

南相馬市は、「こどもたちの笑顔がかがやくまち」の実現のため、地域社会全体でこども・子育てを応援してまいります。

※支援施策一覧については、別表1をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ】

南相馬市 こども未来部 こども家庭課
〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27(東庁舎1階)
電話:0244-24-5215 FAX:0244-24-5740 (担当者:鈴木・福島・三瓶)

HP <https://www.city.minamisoma.lg.jp/>
Twitter https://twitter.com/minamisoma_city
Facebook <https://www.facebook.com/MinamisomaCity/>
note https://note.com/minamisoma_18sai

南相馬市暮らしで 支援が受けられる金額を 試算してみました

最大1000万以上のサポート!



施策	国・県他助成額	市独自助成額	試算の条件等
結婚			
結婚新生活支援事業助成金		300,000	市内に住所を有する39歳以下の新婚夫婦で要件を満たすもの
妊娠			
妊婦一般健康診査助成		135,870	15回受診
妊婦歯科健康診査助成		8,000	1回受診
出産			
出産育児一時金	420,000		分娩1児あたり
出産手当金	543,900		協会けんぽ加入。出産前42日、出産後56日分
ようこそ赤ちゃん誕生祝い品支給事業		20,000 及び市産米30kg	給付券支給
多子世帯子育て応援支援金		400,000	第3子の出産時300,000円及び入学時100,000円
産婦健康診査助成		13,120	2回受診(産後2週間、産後1か月)
新生児聴覚検査		8,500	1回受診
はぐパパ応援育休取得促進奨励金		200,000	育児休業取得日数が7日以上1ヶ月未満は5万円、1ヶ月以上は20万円
住まい			
太陽光発電システム・HEMS・蓄電池補助金		430,000	太陽光発電、HEMS、蓄電池の設置
太陽光発電システム・蓄電池(V2H)補助金	補助制度あり		太陽光発電、蓄電池、V2H設備の設置
子育て			
幼児教育・保育の無償化【0~2歳児】		1,468,500	生後4か月から保育園入園
幼児教育・保育の無償化【3~5歳児】	1,494,000		3歳以降も保育園
幼児教育・保育の無償化【3~5歳児給食費】		162,000	3歳以降も保育園

施策	国・県他助成額	市独自助成額	試算の条件等
子育て			
予防接種費用助成		54,000	年1回、中学生まで接種
児童手当	1,980,000		出生から中学生まで
乳幼児こども医療費助成【18歳以下】	298,500	204,500	出生から18歳まで(各年代の自己負担額平均より算出)
教育			
小・中学校給食費無償化		518,745	小学1年~中学3年の9年間
ICT家庭学習支援(家庭学習支援金支給事業)		10,000	光回線等新規契約世帯(ルーター等購入は半額)
高等学校等就学支援金	356,400		県立高校入学
県立ち応援18歳祝い金		50,000	18歳を迎える子どもに1人当たり5万円の祝い金を支給



子ども1人あたり
合計 **9,076,035 円**

その他の経済的サポート

施策	国・県他助成額	市独自助成額	試算の条件
オンライン結婚マッチングシステム会員登録補助金	10,000 (市独自助成額)		「はび福なび」に会員登録
指定結婚相談所利用者支援事業	200,000 (市独自助成額)		市が指定する結婚相談所に登録・利用
不妊治療費助成	1,745,282 (医療保険・高額療養費) 431,668 (市独自助成額)		一般不妊治療6回(検査、人工授精) 生殖補助医療6回(検査、体外受精、男性不妊治療、顕微授精) ※モデルケース：39歳以下
住宅購入等世帯定住促進事業・空き家改修等支援事業	180,000 500,000~最大3,450,000 500,000~最大2,700,000 (市独自助成額)		1 市外から移住し民間賃貸住宅に入居する若年夫婦世帯、子育て世帯 2 市外から移住し住宅取得する者で要件を満たす者 3 市内在住の多子世帯(18歳以下の同居の子が3人以上)、3世代同居世帯、3世代同居世帯、空き家改修世帯で住宅取得する者
来てふくしま住宅取得支援事業 福島県多世代同居・近居推進事業 「住んでふくしま」空き家対策 総合支援事業	400,000~最大2,500,000 (県助成額)		県外から移住し住宅取得する者で要件を満たす者
みらい育成修学資金 (例：看護師等修学資金貸付)	4,000,000 (市独自助成額)		看護学校(3年)を卒業し、看護師資格を取得して市内就職の場合

支援の恩恵は、手を挙げてはじめて受けられるものもあります。
「子育てライフプラン応援ガイドブック」を参考に、自分に合う支援をぜひ活用してくださいね。

※掲載の内容は、2022年4月時点の制度に基づくモデルケースであり、今後、制度の変更や廃止等により、金額に変更が生じる場合があります。また、所得の状況等のほか、個別の要件が設けられている制度もありますので、必ずしも記載の金額が支給されるものではありません。